

上里町

2024年1月発行 会報40号

公益社団法人
上里町シルバー人材センター

シルバーだより



上里シルバー朝礼風景

会員数

[2023年12月1日現在]



男性 168人



女性 80人



合計 248人

自主

自立

基本理念

共働

共助

新年のご挨拶

理事長 柴崎久男



明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、令和6年の新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

上里町シルバー人材センターの令和5年度の事業活動は、前年から続く新型コロナウイルス感染症の影響が弱まり、以前の事業活動に戻ることができました。毎月の理事会の「月次報告」でその数字が裏付けています。会員各位の日々のご努力により、業績も回復基調になり、皆様のたゆまぬ研鑽に感謝する次第です。

昨年は秋という季節がなくなってしまうたかのように、11月に入っても夏日で半袖と思ったら、一転冬の様相となり寒さでコートを引っ張り出し、夏から一気に冬になってしまったように思いました。秋晴れの日があったか定かではない師走を実感した昨年でした。

昨年の総会が終わると、7月には埼玉県産業労働部の立入検査があり、翌8月には厚生労働省埼玉労働局職業対策課の指導検査あり、沢山の指導をいただきましたが、今までに経験したことのない酷暑の中で、事務所職員一丸となつて対応した次第です。

話は変わりますが社会改革は待ったなしです。10月からはインボイス制度が施行され、年度末の決算時の税金に頭を悩ませている日々です。

また、昨年の5月12日に公布されたフリーランス法の施行を見据えて見直しをせまられていることから、会員の皆様には特段のご理解、ご協力をお願いする次第です。

昨年の12月には「老年学のすすめ」という、なかなか耳にしなかつた研修がありました。講義を聞いていくうちに、当シルバー人材センターに忠告を頂いたように感じた次第です。お互い、体気を付けて日々の仕事にとりみたいですね。

今年度は第一次中期計画3年目に入ります。様々な目標の実現に向けて取り組んでまいります。まずはコロナ禍で減少した会員を拡大し、とりわけ女性会員の拡大を今年も継続して推進してまいります。また、安全就業への取り組みにも力を入れていきます。

年始にあたり、皆様のご多幸をお祈りするとともに愛着と誇りをもって上里町シルバー人材センターの事業を展開して地域社会に貢献すべく誠心誠意全力で取り組んでまいりますのでご協力を賜われますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

ふれあいまつり

■シルバー人材センター

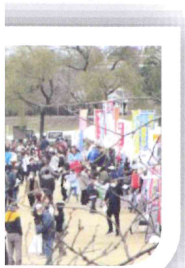
ボランティアで参加



令和5年11月12日(日)秋晴れの好天の中で、堤調節池運動グラウンドにて開催されました。

今年度は新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行されたことに伴い、コロナ禍前と同様に飲食を伴う形で実施されました。

ふれあいまつりは、郷土意識の向上と連携性の強化を目的に「町民相互の交流」を通じ上里町の明るい発展を目指し、毎年開催されております。今回も、町内の各企業・団体がこの趣旨に賛同し、地元特産物の販売・郷土芸能の発表・フリーマーケット等、多くのイベントが繰り広げられました。



新年のご挨拶

上里町長 山下博一



新年あけましておめでとう

ごいいます。

会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶びを申し上げます。

本格的な高齢社会を迎え、高齢者の福祉増進を目的とした上里町シルバー人材センターが、高齢者の生きがい創出のみならず、核家族化の進んだ地域社会に大きな役割を果たされています。柴崎理事長をはじめ役員や会員の皆様のご尽力の賜物と深く敬意を表します。

さて、昨年はポストコロナに向けて社会が本格的に動き出し、当町では2月に駐日ウクライナ特命全権大使のセルギー・コルスンスキー氏をお迎えして「平和への思いをつむぐ町民のつどい」を開催しました。それ以外に

「KAMISATOティーンズ夢フェスティバル」や「このはなマルシェ」等のイベントも開催されるようになり、活気のある町づくりの実現に向けて、様々な活動を再開しております。

こうした中で、貴センターにおかれましては、多様な就業機会の提供や創意工夫に満ちた活動を通じ、高齢者の皆様の健康で充実した生活の実現に向け、着実に歩まれていることを大変心強く感じております。

どうか会員の皆様には、これからも長年の経験や豊富な知識、熟達した技能を生かし、町民の方々の暮らしや企業等の活動に不可欠なサービスを提供し、地域社会を支えていただきますよう、ご理解・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、上里町シルバー人材センターの一層のご発展と会員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



そんな中、上里町シルバー人材センターとしては、会員12名・事務局6名の総勢18名で会場内の飲食後のゴミ収集のボランティアを行い、町民の皆さんが快適にお祭りを過ごせるよう努めました。

また、女性シルバー会員の募集のために「入会案内チラシ」の配布を行い、広くシルバー人材センターの存在価値を高めてまいりました。



事務局だより

■新任職員の紹介

木下雅明



はじめまして、12月より安全適正就業推進員としてお仕事をさせていたただいております木下と申します。

出身は群馬県の鬼石町で、15年前に上里に引っ越してきました。前職は、皆野町で碎石を作る会社で設備機器の総合管理や各種申請を30年担当しておりました。

11月までは、上里町シルバー人材センターの草刈班でお世話になっておりました。草刈班の皆様には、いろいろとお世話になりありがとうございます。2年弱一緒に作業させていただきました。皆さまのスタミナ・技術レベルの高さには正直驚きました。最初はこのチームについていけるか心配でしたが、優しく丁寧に指導いただき何とか頑張つてこられました。

また、他の班の皆さんにも優しく接していただき、大変楽しく仕事ができました。

これから担当していく業務は、労働災害の抑止であり機械・道具の点検整備が主業務だと思っております。これは皆さんが安全・円滑・安心してお仕事に従事していただくための基本であり、そのサポート役になれるよう頑張つてまいりたいと思っておりますので、今後ともご指導お願いいたします。

■会費値上げと納付について

令和5年度の総会で決議された通り、令和6年度より正会員の会費が、現在の1200円から1800円に値上げいたします。人件費と諸物価上昇のもと、シルバー人材センターの健全な運営を維持していくための施策ですので、会員の皆様のご理解をいただきたいと思います。

会費の納付につきましては、昨年同様にご負担いただき、令和6年4月に就労された方は、5月にお支払いする配分金から天引きさせていただきます。派遣で就労している会員と4月に就労されなかった会員は、お手数ですが事務所の窓口で納付をお願い致します。



■令和6年新年会の中止

コロナ禍前には、毎年行っていました上里町シルバー人材センターの新年会は、今年も中止することになりました。

新型コロナウイルスが5類に移行になったとはいえ、現実的には感染者が近くで出ています。加えて、今年はいんフルエンザが猛威を振るっていますので、今年も新年会は中止にする運びとなりました。

新年会を楽しみにしている会員の方々も多くいらっしゃると思いますが、ご理解をお願い致します。

■自転車乗用時のヘルメット着用について

令和5年4月より、すべての自転車利用者に対するヘルメットの着用が努力義務となりました。

当センターにおきましても、昨年秋に会員さんが自転車事故で、お亡くなりになりました。小中学生も自転車通学時には、きちんとヘルメットを着用していただきます。皆さんもご自分の身を守るために、自転車乗用時にはヘルメットの着用を心がけてください。



上里町
シルバーだより

1月号(40号)

令和6年1月17日発行

発行責任者：柴崎 久男

編集長：齊藤 正美

〒369-0304 埼玉県児玉郡上里町大字神保原1401番地



公益社団法人 上里町シルバー人材センター

TEL 0495-33-4231

FAX 0495-71-4251

[ホームページ] <http://kamisatomachisilver.com/>

[E-mail] kamisato@sjc.ne.jp